

令和4年度の主な施策（新規・拡充など）

第1回函館市議会定例会に提案した令和4年度に予定している事業の中から、主な事業を紹介します。

※**新**は新規事業

市民一人ひとりの幸せを大切にします

福祉・健康・暮らし

新 新たな「福祉拠点」

の開設

1億9076万円

地域で見守り、支える福祉拠点を4月から市内10圏域に開設し、高齢者だけでなく、幅広く地域住民の悩みや困りごとに対して支援を行います。

健康づくりの推進

6188万円

参加型大規模イベントの開催や、日々の健康状態や活動等を記録することでポイントが貯まる健幸アプリの配信を開始するほか、健康ポータルサイトを開設します。

町会運営への支援

9026万円

加入世帯の減少などにより運営に支障が生じないよう、町会交付金の引き上げを行います。

民生委員活動への支援

6159万円

地域住民の最も身近な相談相手として、その役割はますます重要になっていくことから、取り組みを支援するため活動費の引き上げを行います。

性の多様性に対する

理解促進

90万円

「パートナーシップ宣誓制度」に関する周知イベントを開催するとともに、アドバイザー派遣により企業の取り組みを支援します。

子育て・学び

子ども・ひとり親家庭等医療費助成の拡充

6億2763万円

4年8月診療分から、現行の所得制限のもと、中学生以下の子どもと、ひとり親家庭等の19歳以下の子どもの医療費をすべて無料にします。

新 中学校等卒業時の

入学準備等支援

1989万円

生活保護受給者等を除く、中学校・義務教育学校を卒業する子どもがいる保護者に高等学校への入学等に係る費用の一部を入学準備等給付金として給付します。

新 不妊相談窓口の開設

36万円

不妊や不育症に悩む方への相談支援を行う窓口を、総合保健センター1階に設置します。

新 出生祝記念品の贈呈

888万円

赤ちゃんの誕生を祝い、健康やかな成長を願って道南スギの積み木を贈呈します。



産後ケアの充実

449万円

助産師等が産後の母体管理や育児指導などを行う産後ケアを、従来の宿泊型に加え、新たに通所型、訪問型により実施します。

学校ICT化への支援

3000万円

学習用端末や大型ディスプレイなど、小・中学校に導入したICT機器を最大限活用するため、サポートセンターを設置します。

新 デジタルAードリルの

導入

2153万円

子ども一人ひとりの学習内容の習熟の程度に応じた問題が出題されるデジタルAードリルを、中学校全生徒を対象に導入します。

函館の経済を支え強化します

雇用

緊急雇用対策費

「会計年度任用職員の臨時雇用30人」

7106万円

新型コロナウイルス感染症の影響により離職した方や内定を取り消された方などを対象に募集します。

新 外国人採用相談窓口

の設置

90万円

市内企業向け相談窓口を設置し、外国人採用に係る制度の周知などを行います。

新 漁業就業実態調査

若者の地元就職促進事業

調査の実施

550万円

漁業就業者の確保や漁業生産の維持に向けた施策の展開のため、また、若者の地元就職と定着の促進に効果的な事業を検討するため、調査を実施します。



観光

国内観光

プロモーションの充実
4001万円

二次元アイドルグループ「HAKOMEN」を活用したSNS等による情報発信や、縄文遺跡群を軸とした広域周遊モデルルートの魅力を発信するWEBコンテンツの制作などを行います。

経済・産業

プレミアム付商品券の発行

8億円
1万円で購入できる1万2千円分の商品券を30万セット発行します。

五稜郭にぎわいプロジェクトの実施

703万円
本町・五稜郭地区の商業施設や商店街等と連携し、地下歩道等の公共空間を活用した賑わい事業を実施します。

新キングサーモン、コンブの完全養殖に向けた技術研究ほか

2億1787万円
持続可能な水産業の確立に向けて、産学官が連携し、キングサーモンとコンブの完全養殖技術などの研究を行うとともに、海面養殖用生け簀の耐久度調査を実施します。

新テレワーク活用事業の検討

420万円
交流人口や定住人口の拡大に向けて、テレワークを活用した新たな取り組みを検討するため、企業ニーズ調査を実施します。

新弘前市と連携した周遊観光の推進

500万円
弘前市と連携して、人気キャラクター「初音ミク」を活用し、周遊観光を推進します。



函館発・偉人アイドルグループ「HAKOMEN」

快適で魅力あるまちづくりを進めます

都市空間・防災

西部地区の再整備

3億567万円
西小学校建物の解体等を行い、西小・中学校跡地の有益な活用策の検討を行うほか、「まちぐらしシンポジウム」などを開催します。

新函館駅前東地区における公共施設の検討

95万円
棒二森屋跡地における公共施設の整備検討に係る調査を行います。

新函館駅前・大門地区の賑わい創出

5465万円
回遊性が高まる歩行空間となるよう、東雲広路や高砂通の整備に着手するほか、テイクアウト窓口設置などの店舗改修費や、地区内での住宅取得費への支援制度を新設します。

新エネルギーシステム等の導入支援

1000万円
太陽光パネルなどの設置に係る費用の一部を助成するほか、新たに電気自動車への購入への支援を行います。

防災対策

7376万円

昨年7月に北海道が公表した新たな津波浸水想定への対応として、ハザードマップの更新や防災行政無線の増設に向けた設計などを行います。

歴史・文化・スポーツ

新スケートボード等のアーバンスポーツに関する需要等調査

500万円
スケートボードやスポーツクライミングなどの体験イベントを通じ、ニーズや競技人口等を把握するための調査を行います。

史跡垣ノ島遺跡デジタルコンテンツ等の整備

3000万円
縄文文化を視覚的に感じられるAR（拡張現実）技術を活用したデジタルコンテンツ等を整備します。

新市制施行100周年記念式典の挙行政

970万円
4年8月1日に、市制施行100周年を祝う記念式典を挙行政します。